

外洋海域の海水モニタリング結果について

海上保安庁では、東京電力福島第一原子力発電所事故によって環境中に放出された放射性物質濃度把握のため、「[総合モニタリング計画](#)」に基づき外洋海域の海水モニタリングを実施しました。

この度、分析が終了しましたので、結果を報告します。

(1) 調査の概要

試料採取日:平成 30 年 6 月 20 日～23 日

試料採取点:K-1,K-2,K-3,K-4(付図参照)

採 取 層:表層及び中層(海面から深度 640m～750m 付近)

測 定 核 種:セシウム-134(Cs-134) 半減期 2.1 年

セシウム-137(Cs-137) 半減期 30 年

ストロンチウム-90(Sr-90) 半減期 29 年

(2) 放射能濃度

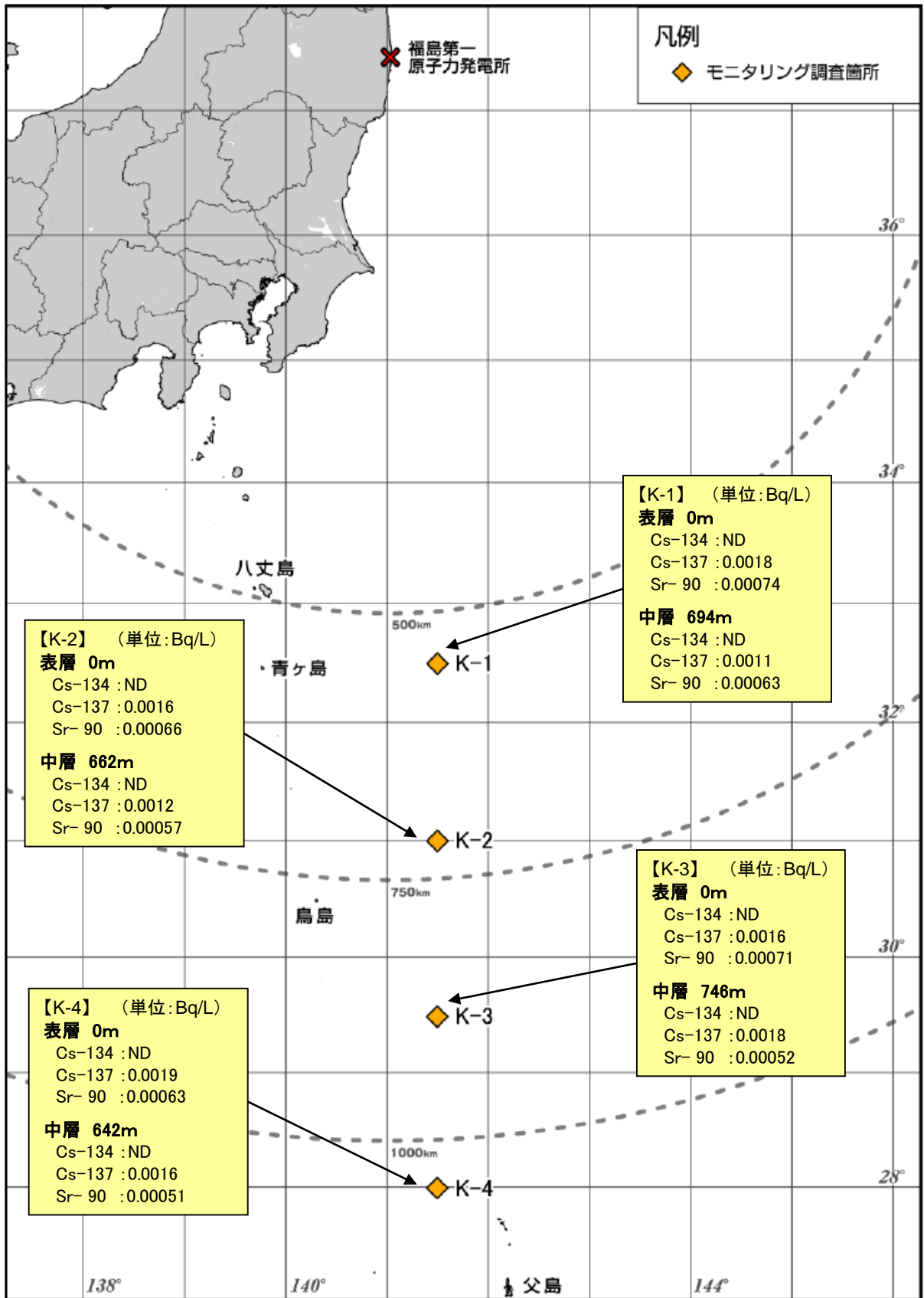
試料 採取点	採取日	採 取 位 置		採取深度 (m)	放射能濃度(Bq/L)		
		北緯	東経		Cs-134	Cs-137	Sr-90
K-1	2018/6/23	32°30'	141°30'	0	ND	0.0018	0.00074
				694	ND	0.0011	0.00063
K-2	2018/6/21	31°00'	141°30'	0	ND	0.0016	0.00066
				662	ND	0.0012	0.00057
K-3	2018/6/21	29°30'	141°30'	0	ND	0.0016	0.00071
				746	ND	0.0018	0.00052
K-4	2018/6/20	28°00'	141°30'	0	ND	0.0019	0.00063
				642	ND	0.0016	0.00051

※ ND は、海水の放射能濃度が検出下限値を下回ることを示す。

セシウム-134 は、すべての試料で不検出でした。セシウム-137 は 0.0011～0.0019Bq/L、ストロンチウム-90 は 0.00051～0.00074Bq/L であり、過去 4 年間のそれぞれの濃度範囲は 0.0009～0.0023、0.00049～0.0012Bq/L であったため、これまでの濃度範囲内の結果でした。

【担当】海上保安庁海洋情報部環境調査課海洋汚染調査室
電話:03-5500-7129(直通)

外洋海域の海水モニタリング結果 (平成30年 6月20日～23日 採水)



※ NDは、海水の放射能濃度が検出下限値を下回ることを示す。